



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年10月31日

東

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所  
 コード番号 7476 URL <https://www.as-1.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井内 卓嗣  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 西川 圭介 (TEL) 06-6447-1210  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	44,113	3.6	4,974	△6.7	5,167	△3.1	3,550	△3.5
2023年3月期第2四半期	42,597	5.3	5,329	37.2	5,330	32.4	3,680	29.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,612百万円(△15.2%) 2023年3月期第2四半期 3,082百万円(△21.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	98.10	97.96
2023年3月期第2四半期	98.53	98.40

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	94,228	64,380	68.2
2023年3月期	97,479	63,968	65.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 64,261百万円 2023年3月期 63,848百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	48.00	—	63.00	111.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	51.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,600	5.7	10,330	△9.4	10,710	△8.0	7,350	△9.4	203.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	40,276,270株	2023年3月期	40,276,270株
2024年3月期2Q	4,072,743株	2023年3月期	4,088,337株
2024年3月期2Q	36,194,749株	2023年3月期2Q	37,352,144株

(注) 期末自己株式数においては、株式給付信託 (取締役向け) 及び株式給付型E S O P信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式(2024年3月期2Q 90,494株、2023年3月期101,952株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
3. その他 .....	12
販売実績 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日、以下「当第2四半期」という)におけるわが国経済は、大企業を中心に賃上げが進みつつあることや、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの変更などから経済活動の再開が進み、個人消費や設備投資などの持ち直しが見られた一方で、円安の進行や中国経済の変調がありました。今後についても、金利動向や地政学リスクなどから予断を許さない状況が続いております。

このような事業環境のもと、当第2四半期の連結売上高は、441億13百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

売上高増加要因としては、当社の主たるマーケットである研究や生産の現場において前年に引き続き需要が活発であり、WEB上の取扱商品が前年同四半期末比約270万点増加し1,000万点を超えたことと、eコマース関連を始めとした顧客のすそ野が広がっていることとの相乗効果でロングテール商品の売上が拡大していることが挙げられます。これらにより、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの変更に伴う感染対策用品の需要調整を補うことができました。

収益性については、調達コストの上昇と並行して機動的なプライシングを実施することで、売上総利益率は前年同四半期と概ね同水準で推移しております。

販売費及び一般管理費については、売上高1,000億円の先を見据えた新物流拠点である阪神DCの開設等により不動産賃借料等の増加があり、88億47百万円(同9.7%増)となりました。その他の経費に関しては、人材投資の一環として実施している賃上げによる人件費の増加があるものの、配送費等の削減等により計画対比では抑制気味に推移しております。

この結果、営業利益は49億74百万円(同6.7%減)、経常利益は51億67百万円(同3.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億50百万円(同3.5%減)となりました。前年同四半期比で減益となりましたが、阪神DC開設の初年度であり、固定費が一時的な負担となったことによるものです。利益計画に対しては、それぞれ7%程度の上振れの結果となりました。

部門別の状況及び中期経営計画主要売上施策の進捗状況は以下のとおりです。

## &lt;ラボ・インダストリー部門&gt;

大学、研究機関及び企業の研究部門等を対象とするラボラトリー分野では、前年度末の一時的買い控えから一転、新年度予算執行に伴い、ペーパータオル等のラボ用消耗品、ピペット等の分析器具、分析装置等の売上が伸長しました。また、チャンネルとしては集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高が前年同四半期比12.9%増と当分野の成長を牽引しました。これらにより当分野の売上高は267億77百万円(同8.6%増)と堅調に推移しました。なお、6月30日より新たな連結子会社が加わり7月以降の当分野の売上に1.6%程度プラスに寄与しております。

また、製造現場等を対象とするインダストリー分野では、個人消費の持ち直しや供給制約の緩和などから工場稼働率の改善が見られ、クリーンルーム消耗品、計測機器等の売上が伸びました。チャンネルとしては、同じく集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高が同14.2%増と当分野の成長を牽引しました。これらにより当分野の売上高は91億25百万円(同5.5%増)となりました。

この結果、当部門の当第2四半期の売上高合計は359億2百万円(同7.8%増)となりました。

## &lt;メディカル部門&gt;

医療機関や介護施設等を対象とするメディカル部門では、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが第5類に移行し、感染対策用品を中心とした需要動向に変調が見られました。前年の7月～9月にかけてはコロナ禍の第7波が流行したのに対し、当第2四半期には政府や自治体における備蓄医療用物資の放出が加わり、反動減を余儀なくされました。一方、新規開業や設備更新に伴う収納什器やベッド類の売上は増加を示しております。また、集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高は、まだ少額ながら同18.0%増とeコマースチャネルでの売上獲得が進みました。この結果、当部門の当第2四半期の売上高は79億30百万円（同12.2%減）となりました。

## &lt;その他&gt;

子会社の株式会社トライアンフ・ニジュウイチは「Off Side」システム等により理化学機器・消耗品等のWEB購買業務代行サービスやシステム提供を行っております。顧客のシステム利用の増加等に伴い、当部門の当第2四半期の売上高は2億80百万円（同8.8%増）となりました。

## &lt;中期経営計画－PROJECT ONE ver. 2.0－における主要売上施策の進捗状況&gt;

中期経営計画で掲げる主要売上施策は以下のとおり推移しました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
eコマース	11,246	12,898	114.7
海外事業 ※	2,234	2,327	104.2
合計	13,481	15,225	112.9

※海外事業の7割前後は中国現地法人の売上ですが、現地法人事業年度が1～12月のため、第2四半期連結累計期間には現地における1～6月の売上高を連結しております。

eコマースについては、ネット通販事業者向けや「AXEL Shop」等のオープンサイト系ECチャネルで、特にネット通販事業者向けにおいて掲載商品の拡大や各種連携により、当第2四半期の売上高は前年同四半期比11.3%の増収となりました。一方、大手ユーザー向け集中購買システム「ocean」や販売店支援型ECシステム「Wave」といったクローズドサイト系ECチャネルにおいては、新規アカウントの増加、掲載商品の拡大、顧客側での研究施設拡充等により既存接続先の利用拡大が進んでいること等により、当第2四半期の売上高は同18.0%の増収となりました。

海外事業のうち中国については、経済の停滞が懸念されるものの、ラインナップの充実や日本製バイオ関連装置の販促活動が奏功し同4.1%の増収となりました（現地通貨ベースでは同1.4%増）。一方、日本からの海外への輸出（中国を除く）においては、多言語サイトの「AXEL\_GLOBAL」や「Wave\_GLOBAL」に掲載する取扱商品を約240万点に拡大した上、掲載情報の拡充に取り組んでおり、また、渡航再開に伴い現地販売店とのコミュニケーション強化を図って販促活動に注力してまいりました。一方、前年までODA関連で感染対策品の輸出が伸びていましたが、案件減少の影響を受けました。これらにより海外への輸出は、同0.3%の増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

2023年6月30日より新たな連結子会社が1社加わり、連結貸借対照表の総資産ベースにおいて16億円程度加算されております。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、942億28百万円（前連結会計年度末比32億50百万円減）となりました。このうち流動資産は、591億87百万円（同34億72百万円減）となりました。これは、主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせて17億58百万円減少したこと、現金及び預金が11億66百万円減少したこと、有価証券が7億98百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、350億40百万円（同2億21百万円増）となりました。これは、主として時価のある投資有価証券の変動等により投資有価証券が3億24百万円減少した一方、新たな物流拠点である阪神DC等の設備投資等により建物及び構築物が2億31百万円、その他の有形固定資産のうち工具・器具及び備品が1億14百万円増加し、上記連結対象会社の追加により土地が2億14百万円増加したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、298億47百万円（同36億63百万円減）となりました。このうち流動負債は、239億60百万円（同33億44百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が14億71百万円減少したこと、未払法人税等が6億45百万円減少したこと、短期借入金が6億41百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、58億87百万円（同3億18百万円減）となりました。これは、主として阪神DCの開設により資産除去債務が3億34百万円増加したことやその他の固定負債が2億36百万円増加した一方で、長期借入金が4億79百万円減少したこと、繰延税金負債が3億53百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、643億80百万円（同4億12百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が12億64百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が10億42百万円減少したこと等によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、財務活動による資金支出及び投資活動による資金支出が営業活動による資金収入を上回り、前連結会計年度末に比べ11億50百万円減少し、126億71百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、39億45百万円の資金収入で、前第2四半期連結累計期間に比べ収入が13億88百万円増加しました。これは、主として棚卸資産の増減額による支出が22億70百万円減少したこと、仕入債務の増減額による支出が12億34百万円減少したこと等により資金支出が減少した一方、売上債権の増減額による収入が17億90百万円減少したこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、15億3百万円の資金支出で、前第2四半期連結累計期間に比べ支出が52百万円減少しました。これは、主として投資有価証券の償還による収入が15億円発生した一方、投資有価証券の取得による支出が8億84百万円増加したこと、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が4億18百万円発生したこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは36億62百万円の資金支出で、前第2四半期連結累計期間に比べ支出が1億75百万円増加しました。これは、主として自己株式の取得による支出が6億99百万円減少した一方、長期借入金の返済による支出が5億84百万円増加したこと、配当金の支払額が2億98百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期において、売上高に関しては、ラボ・インダストリー部門が計画を上回るペースで拡大しているものの、連結売上高の2割弱程度を占めるメディカル部門が計画に達せず売上計画は全体として1.3%届きませんでした。利益面については、経費を抑制することで、営業利益が計画を7.2%上回りました。

第3四半期以降において、売上高に関してはラボ・インダストリー部門及びメディカル部門の現状及び期初に計画外であった新たに連結対象となった子会社の売上が7月より加わっていること等を踏まえ、構成の若干の見直しを行ったものの、通期予想に大きな変更はありません。また、コスト面でも、個々の費用の見直しを行いました。人件費への配分の増加等もあり、通期予想において全体として大きな変更はありません。

従いまして、2023年5月12日公表の数値を据え置き、業績予想は変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,612,260	16,445,763
受取手形及び売掛金	21,437,544	19,544,201
電子記録債権	10,897,523	11,032,284
有価証券	1,000,000	201,097
棚卸資産	11,007,670	11,184,529
その他	714,956	788,729
貸倒引当金	△9,962	△8,757
流動資産合計	62,659,993	59,187,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,644,891	2,876,631
土地	1,834,659	2,048,687
その他（純額）	3,215,995	3,159,869
有形固定資産合計	7,695,546	8,085,188
無形固定資産		
投資その他の資産	1,564,271	1,604,559
投資有価証券	20,492,715	20,168,011
繰延税金資産	86,907	96,214
投資不動産（純額）	3,834,115	3,805,182
その他	1,168,021	1,310,670
貸倒引当金	△22,136	△29,226
投資その他の資産合計	25,559,623	25,350,851
固定資産合計	34,819,441	35,040,599
資産合計	97,479,434	94,228,447
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,689,945	18,218,776
短期借入金	2,750,000	2,108,976
未払法人税等	2,217,975	1,572,409
賞与引当金	879,849	582,639
その他	1,767,513	1,477,583
流動負債合計	27,305,283	23,960,385
固定負債		
長期借入金	3,437,500	2,958,242
繰延税金負債	906,000	552,326
株式給付引当金	147,542	84,001
役員株式給付引当金	58,233	58,233
退職給付に係る負債	122,518	128,871
資産除去債務	905,297	1,239,975
その他	628,937	865,584
固定負債合計	6,206,028	5,887,233
負債合計	33,511,312	29,847,618



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	4,337,748	4,350,932
利益剰余金	58,286,371	59,550,841
自己株式	△9,989,561	△9,916,160
株主資本合計	57,709,558	59,060,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,830,305	4,788,267
為替換算調整勘定	308,467	412,158
その他の包括利益累計額合計	6,138,773	5,200,425
新株予約権	119,790	119,790
純資産合計	63,968,121	64,380,828
負債純資産合計	97,479,434	94,228,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	42,597,726	44,113,472
売上原価	29,202,329	30,291,208
売上総利益	13,395,397	13,822,263
販売費及び一般管理費	8,066,073	8,847,421
営業利益	5,329,323	4,974,841
営業外収益		
受取利息	42,295	57,663
受取配当金	35,581	46,575
不動産賃貸料	211,627	214,944
その他	13,035	31,008
営業外収益合計	302,539	350,191
営業外費用		
支払利息	706	1,802
不動産賃貸原価	91,214	87,789
為替差損	196,807	56,220
その他	12,526	11,254
営業外費用合計	301,255	157,066
経常利益	5,330,608	5,167,966
税金等調整前四半期純利益	5,330,608	5,167,966
法人税、住民税及び事業税	1,577,046	1,490,717
法人税等調整額	73,250	126,517
法人税等合計	1,650,296	1,617,234
四半期純利益	3,680,311	3,550,732
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,680,311	3,550,732

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,680,311	3,550,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△816,188	△1,042,037
為替換算調整勘定	218,215	103,690
その他の包括利益合計	△597,973	△938,347
四半期包括利益	3,082,338	2,612,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,082,338	2,612,385

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,330,608	5,167,966
減価償却費	780,366	856,031
受取利息及び受取配当金	△77,877	△104,238
支払利息	706	1,802
売上債権の増減額 (△は増加)	3,818,802	2,028,049
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,143,637	127,302
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,793,580	△1,559,271
その他	△984,992	△548,948
小計	3,930,395	5,968,694
利息及び配当金の受取額	94,029	107,040
利息の支払額	△715	△1,839
法人税等の支払額	△1,466,591	△2,128,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,557,118	3,945,415
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△600
定期預金の払戻による収入	-	100,000
投資有価証券の取得による支出	△1,000,000	△1,884,090
投資有価証券の償還による収入	-	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△224,481	△444,938
無形固定資産の取得による支出	△330,382	△360,117
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△418,989
その他	△1,551	4,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,556,416	△1,503,877
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	10,192
長期借入金の返済による支出	△800,000	△1,384,696
自己株式の取得による支出	△699,984	△903
自己株式の処分による収入	15,678	19,567
配当金の支払額	△1,986,130	△2,284,684
リース債務の返済による支出	△17,088	△22,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,487,525	△3,662,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	117,935	70,687
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,368,888	△1,150,596
現金及び現金同等物の期首残高	14,427,964	13,822,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,059,076	12,671,663

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. その他

## 販売実績

## a. 部門別販売実績

部門	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
ラボ・インダストリー部門	33,306,020	78.2	35,902,280	81.4
ラボラトリー分野	24,660,457	57.9	26,777,152	60.7
インダストリー分野	8,645,562	20.3	9,125,128	20.7
メディカル部門	9,033,901	21.2	7,930,785	18.0
その他	257,804	0.6	280,405	0.6
合計	42,597,726	100.0	44,113,472	100.0

(注) 1. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する販売店への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

2. その他は株式会社トライアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上等であります。

## b. 品目別販売実績

品目	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
科学機器・装置				
汎用科学機器・装置	4,421,463	10.4	4,627,115	10.5
分析、特殊機器・装置	8,305,477	19.5	8,629,712	19.6
物理、物性測定機器・装置	2,173,605	5.1	2,550,750	5.8
実験用設備機器	4,281,506	10.0	5,217,683	11.8
小計	19,182,053	45.0	21,025,261	47.7
科学器具・消耗品				
汎用器具・消耗品	10,397,740	24.4	10,584,380	24.0
半導体関係特殊器具	4,418,422	10.4	4,587,894	10.4
小計	14,816,162	34.8	15,172,275	34.4
看護・介護用品	8,341,706	19.6	7,635,529	17.3
その他	257,804	0.6	280,405	0.6
合計	42,597,726	100.0	44,113,472	100.0

(注) 1. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

2. その他は株式会社トライアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上等であります。